

◎「規律」と「自主性」

中間考査が終わり、テストの結果はどうでしたか。考査があるから勉強するのではなく、ここからは進路実現に向かって自主的に取り組んでいく時期です。前回の学年通信では、「自主性」を発揮するためには、力を養う必要があり、その養う過程が今であることを書きました。しかし、自主的になる術(力・能力など)を持っていると、人は「自主性」を発揮することができるのでしょうか。世の中では、いつのまにか「生徒の自主性」が理想化されています。しかし、人が自主的になるのは容易なことではなく、「自主性」を疎外する原因の一つとして「規律」が指摘されています。学校の校則の見直しや、学業成績や考査を無くすといった取組も「規律」を緩めて「自主性」を育むといった流れなのではないのでしょうか。しかし、人は「規律」から解き放たれることで自主的に行動できるのでしょうか。以下のような言葉があります。

「会社のルールが無いと社員、個人個人の考えになり、組織として機能しなくなる」

「アルペン競技スキーの選手のフリースキー(自由にゲレンデを滑る)は、すごい技術だが、どこか美しくない。しかし、旗門をくぐる制約のある中での滑りは非常に美しい」

「野球でも、ストライクゾーンが示されているから、投手はそこに向かって思い切って投げられる」

「規律(校則、ルールなど)」と聞くと、多くの人が縛られるというイメージを持つのではないのでしょうか。しかし、実際には「規律」があるからこそ、どのように取り組めば自分自身を磨けるか、高められるかと知恵を絞り、試行錯誤するようになります。そして、限られた条件の中で美しく見せたり、集団の一体感や一貫性を保ちながら、自主性を思う存分発揮できたりするのではないのでしょうか。

「規律」を取り除き、自分の欲だけを出してわがままになってはいけません。校則、課題、考査など学校にある「規律」の中で、できることを見だし、実行する態度である「自主」が、社会では求められており、人々を魅了するのです。

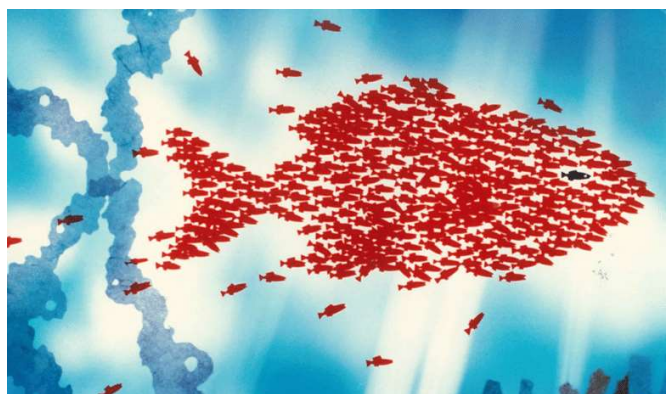


写真1: スイミーたちの泳ぎも規律があって成り立っています。「規律」には、縛られるというネガティブなイメージもあります。しかし、スイミーたちは縛られているようなところがありません。一人ひとりが自主性を持ってチームの目標に向かってるように思えます。

◎今後の予定

11月1日(金)	秋季総体・高文祭	11月12日(火)	⑦限総合(志望理由書作成)
11月4日(月)	振替休日	11月14日(木)	⑥⑦限学年レク
11月5日(火)	【月曜日時間割】	11月16日(土)	P T A卒業生と語る会 (場所:八日市ロイヤルホテル)
	⑦限学年集会(10月24日予定の分)		
11月7日(木)	⑦限11/14(木)6限の授業	11月19日(火)	⑦限総合(志望理由書講演会)
11月9日(土)	体験入学	11月21日(木)	⑦限防災訓練
11月10日(日)	進研記述模試・小論文模試	11月25日(月)	考査時間割発表